



世田谷区喜多見の閑静な住宅街に位置するグループホーム。2階は職員寮になっています。

いたる通信 63 新年号

ITARU CENTER

平成29年・年頭所感

社会福祉法人いたるセンター

理事長 谷山 哲浩 (たにやま てつひろ)

明けましておめでとうござい
ます。旧年中は格別
ご高配を賜り、厚くお礼申し
上げます。

昭和42年9月11日、第二種
社会福祉法人の認可を受け、
家庭児童相談および精神薄弱
者の更生相談と指導に依る
民間施設として、社会福祉法
人いたる臨床発達指導セン
ターは誕生しました。

以来、障害福祉サービスの
提供を核として、今年、設立
50周年の記念すべき年を迎え
ることができました。これも
ひとえに、皆様方のご支援、
ご愛顧の賜物と心から感謝い
たしております。

日本の社会福祉事業界の第
一人者たちが集い、青雲の志
をもって設立された当法人は、

目次 contents

- 01 巻頭 谷山理事長
- 02 グループホーム特集
 - ・喜多見 GH
 - ・高齢者対応の GH を目指して
 - ・新ワルツ、見学者相次ぐ
- 03
 - ・待機児童問題に尽力
 - ・学童保育事業への挑戦
 - ・目黒本町福祉工房
- 04
 - ・自主生産品販売会報告
 - ・障害者優先調達法を受けて
 - ・パン工房 PukuPuku
- 05
 - ・在宅を支える支援
 - ・地域ニーズに応える短期入所へ
 - ・あけぼの作業所
 - ・すまいる高井戸
- 06
 - ・いたる職員日より
 - ・法人本部

いたる賛助会入会のご案内

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。
「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。
年会費 1,050円(何口でも可)
郵便振り込み 00110712892
TEL 339217346 事務局 山本まで

いたる職員便り/1~3月に誕生日を迎える職員のみなさま、おめでとうございます。

1月02日 菅原みゆきさん
(すまいる高井戸)
散歩を兼ねての図書館巡りです。

1月03日 潮平里輝さん
(クローバー)
ひたすら寝る事とバイク、酒です。

1月05日 中村金一さん
(あけぼの作業所)
パッションフルーツとブルーベリーの栽培を始めようと考えています。都心にあるビルの屋上で、養蜂を兼ねた農業をすることが2020年の夢です。



1月09日 渡辺康真さん
(パン工房 PukuPuku)
文鳥・オウム・オカメインコ・ポタンインコたちと遊ぶことです。

1月18日 浅野雄一さん
(目黒本町福祉工房・生活介護)
増量計画。何のかって？それは想像にお任せします。

1月22日 影山仁美さん
(クローバー・所長)
友人とのホットヨガ & 食事、公園散歩。

1月28日 岩根あずみさん
(さんまるしゅ)
子供の頃に読んだ本を読み返しています。新しい発見があったりします。

2月03日 對田竜太郎さん
(目黒本町福祉工房・生活介護)
BBQでの料理作りとプロレス(新日本プロレス)に夢中です。

2月05日 大上茂樹さん
(ピヨピヨおうちえん)
孫娘が1歳半になったので、成長記録用に1眼レフのカメラを買って孫の撮影にはまっています。

2月08日 広瀬美雪さん
(あけぼの作業所)
パンケーキとココアの美味しい店を探す事。甘々が好きです。



2月14日 圓谷一博さん
(目黒本町福祉工房・就労B型)
自らの我欲をすてた動きにて真実の生命が覚醒し黄金の強さが湧き出する。

2月15日 下條珠恵さん
(あけぼの作業所・GL)
オーストラリアに行ってから海の魚や動物が気になります☆



2月18日 山添有平さん
(あけぼの作業所・生活介護)
ラグビーの試合は、欠かさず見えています！

2月25日 三田浩史さん
(みつばち・GL)
季節のせい、家こもり、読書三昧の毎日です。

2月27日 豊崎朝子さん
(阿佐谷福祉工房・生活介護)
ボルダリングをしています。美術館に行くのもブームです。

2月27日 澤田章代さん
(ピヨピヨおうちえん)
猫を飼い始めました。最近はずっと猫。

3月05日 五木田義之さん
(目黒本町福祉工房・副施設長)
早く遠くまで走ること。42.195kmを3時間で走りたい！

3月07日 三浦賢司さん
(目黒本町福祉工房・就労B型・GL)
私のマイブームは、インスペクター・ガジェットです。アメリカのテレビアニメでガジェットの相棒の女の子が全くかわいくないので逆に興味を

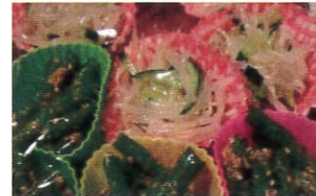
引きました。
3月15日 阿久津庄司さん
(目黒本町福祉工房・施設長)
息子二人とも地元のサッカーチームに入り(野球じゃなかった(泣))、その試合観戦かな。試合で大活躍する姿を日々夢見てます！

3月15日 内田恵梨子さん
(あけぼの作業所・生活介護)
最近のマイブームは、おいしいラーメン屋さんを見つけることです。



3月25日 饗庭和博さん
(あけぼの作業所・生活介護)
Manics・Suede・水カン・ネギを聴く合間にギターしてバンド活動。

3月26日 新田綾子さん
(あけぼの作業所・生活介護)
高校生の息子が毎日お弁当なので、週末におかずを作り置きするのが最近の楽しみです。



3月30日 村島俊哉さん
(阿佐谷福祉工房・生活介護)
週1回、エレキギター教室に通っています。気分転換を図っています！

3月30日 小池奈央さん
(クローバー)
水族館に行くこと。イルカを見るといやされます。

3月31日 野田英季さん
(阿佐谷福祉工房・生活介護)
早く寝ることがマイブームです。7時間以内の睡眠だと事故の確率が1.3倍、4時間以内だと3倍に！支援も同じです。皆さん睡眠を取りましょう！

いたるセンターのホームページをご存知ですか？

社会福祉法人いたるセンターでは、2012年に法人ホームページを立ち上げ、年々その内容を充実させています。法人概要や施設紹介、採用情報はもちろん、第三者評価や決算データも公開しています。また、お知らせでは、最新の法人・施設情報をタイムリーにお届け。いたる通信のバックナンバーのデータもありますので、ぜひ一度、ご覧くださいませ。
社会福祉法人いたるセンター・ホームページ
URL: <http://www.itarucenter.com/index.html>

いたる広報委員

発行責任者=谷山 哲浩
社会福祉法人いたるセンター
〒167-0032
東京都杉並区天沼1-15-18
TEL: 03-3392-7346
FAX: 03-3391-8039
Eメール: info@itarucenter.com
HP: <http://www.itarucenter.com/>
発行日/平成29年1月1日
ご意見・ご感想がございましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。
いたる広報委員まで。



世田谷区喜多見グループホーム、

イタル成城 セネラルマネジャー 池田 佳津男

平成29年6月の事業開始を
目指し、世田谷区喜多見に世
田谷区では3か所目のグルー
プホーム（仮称）喜多見ホ
ーム」の開設準備を進めてい
ます。

世田谷区では『せたがや
ノーマライゼーションプラ
ン』を策定し、「障害の有無
に関わらず、誰もが住み慣れ
た地域で自分らしい生活を安
心して継続できる社会の実
現」を目指されています。こ
の基本理念は当法人が掲げて
いる理念と同じであり、当法
人としても理念の実現に向け
て世田谷区で新たにグループ
ホームを開設する運びとなり
ました。

「（仮称）喜多見ホーム」は
定員10名で、軽度の知的障害
をお持ちの男性を対象とした
グループホームとなる予定で
す。駅からは少し離れていま
すが、幹線道路からも離れた
閑静な住宅地で、近くには次

大夫堀公園や畑もあり農作業
に取り組むこともできます。
またコンビニやスーパーマー
ケットも近くにあり、生活を
する上での環境も整っており
環境面では申し分ありません。
自治会にも加入し、地域の行
事にはご利用者様も一緒に参
加するなど地域との交流も積
極的に行う予定です。
建物は鉄骨構造2階建てで、
グループホームは1階部分を
改修して作ります。2階部分
は職員寮となっており、既に
何名かの職員が入寮し生活を
しています。
当法人の他のグループホー
ム同様に、ご利用者様の安全
安心を念頭におきながら、個
性を活かし豊かな社会生活が
送れるよう取り組んでまいり
ます。
■当グループホームに関する
お問い合わせは、イタル成
城・池田まで 電話03-6
27719911

高齢者対応のグループホームを目指して

地域ケアセンター・グループホーム部 マネジャー 白瀧 則男

あけましておめでとうござ
います。
昨年2月に開設したグルー
プホーム「ワルツ」は、高齢
者対応のグループホームとし
て福祉新聞にも取り上げら
れ、全国各地から沢山の方が
見学に訪れました。

地域ケアセンターのグルー
プホーム入居者70名の平均年
齢は44歳ですが、55歳以上の

方は17名入居しています。こ
のように、障害者の高齢化に
伴うグループホームの在り方
は現実的な問題になっており、
高齢化対策を基本に据えて開
設したワルツは各方面から先
駆的な立場として期待されて
います。
既存のグループホームの多
くは木造で老朽化しており、
今後を考えると新たに整備す

新ワルツ（共同生活援助）、見学者相次ぐ

地域ケアセンター・センター長 八巻 利子

平成28年2月1日、杉並区
上荻に新しく鉄筋3階建ての
「イタル上荻・新ワルツ」
の運営が開始いたしました。
完成と同時に多くの行政関係
者や同じ障害者施設を運営す
る社会福祉法人、NPO法人、
親の会等の見学者が相次ぎま
した。見学者の多くは高齢化を
見据えた画期的な施設である
ということでした。

また、6月6日には「福祉
新聞」に新ワルツが掲載され
たことで、秋田、富山、岡山
等、遠方からの見学者が相次
ぎました。ワルツを見学され
た方の中で高齢になられた方
の医療連携のことに関しての
質問等もありました。
まだまだなどところもありま
すが、まずはスタートできた
ことに感謝しています。



昨年12月、岡山県・旭川荘様が来訪されました。

杉並区の待機児童問題に尽力

ユビエビおうちえん 園長 長谷川 貴志

新年あけましておめでとう
ございます。

当保育園（小規模型事業所
内保育事業A型）は、平成28
年4月の新年度から地域枠の
0歳児枠を1名増やし、定員
を13名とします。現保育室の
面積から計算して、この数
（0歳児3名、1歳児5名、
2歳児5名）が最大の受け入
れ数となります。

従業員枠は13名の内3名分
を確保していますが、これも
杉並区の保育課にご相談し、
ご許可をいただきながら地域
枠への融通をしています。杉
並区の待機児童数の削減のた
め、たとえ1名でも多くのお
子様をお預かりできるように努
力していきます。本年も「ピ
ヨピヨおうちえん」をよろし
くお願い申し上げます。



地域枠のお子様のお預かりもスタートしています。

セカンドステージへ

目黒本町福祉工房 施設長 阿久津 庄司

あけましておめでとうござ
います。
平成二九年は目黒本町福祉
工房にとってはセカンドス
テージの第一歩を踏む出す年
になります。

振り返りますと、五年前の
平成二四年四月に、当法人は
指定管理事業者として工房の
運営が始まりました。区立直
営から区立民営へ。職員も総
入れ替えするなど大きな変化
がある状況で、皆さんの不安
な気持ちをしっかりと受け止め、
「安心・安全」の提供に注力
してきました。そんな意気込
みとは裏腹に当初は何かとご
心配をおかけする状態が続き
ました。

スタートした今、ご利用者様
の「思い」を受け止め、可能
性を追求し続けて支援にあた
ることで、やりがいや達成感、
幸福感を味わっていただき、
それが職員にも広がっていく。
こんないい連鎖が生れると、
職員個々の力がつき、それが
チーム力となり、組織が強く
なる。「牛の歩みも千里」の
通り、たとえ歩みはゆっくり
でもご利用者様と職員が共に
前進していく、やがて目標の
実現という「大輪」が咲く。
ご利用者様やご家族に愛され、
必要とされ、そして職員に
とってもやりがいや達成感を
得られる工房を目指してい
きます。

しかし、この五年間歩みを
止めることなく前進してきた
ことにより、指定管理の更新
も正式に決まり、平成二九年
度から一〇年間運営を任せて
いただくことになりました。
この「セカンドステージ」が
いよいよ実現します。

学童保育事業への挑戦

保育・学童保育準備室 室長 花山 隆洋

新年あけましておめでとう
ございます。

当法人の地域福祉への課題
として「一生涯に亘っての支
援」体制の構築があり、「揺
りかごから墓場まで」のス
ローガンを掲げ3年を経過し
ていますが、まだまだ抜け落
ちている年齢・年代層があり
ます。その内の一つが小学生
の学童保育の分野です。

今年、杉並区の学童クラブ
運営業務の公募案件に応募い
たしましたが、勉強不足・研
究不足で選にもれる結果とな
りました。杉並区児童青少年
課の方針及び、学童クラブ運
営指針の更なる読み込み、他
の学童保育事業者の既存学童
クラブの実績や運営実態の調
査研究等々、今後のプロポー
ザルに備えて勉強していくこ

とは山ほどあります。学童ク
ラブ運営経験の無い当法人に
とっては公募案件のために作
成する「企画提案書」が知識
吸収の大きな一歩となります。
今後も、杉並区の学童クラ
ブの公募がありましたら、勉
強・研究の成果をご覧いただ
けることを願ひ、挑戦してま
いります。今年もよろしくお
願い申し上げます。

自主生産品販売会

報告

（きたむら ひでふみ）
北村 英文

あけましておめでとうござい
ます。一昨年の11月に始め
た【合同販売会】が、昨年は
5回実施する所まで成長して
きました。これは評議員の松
本様をはじめ、三井不動産株
式会社関連各社様のダイバ
シテイに対する理解と、スケ
ジュールの立て込んだ中でも
出品にご協力下さいました各
事業所の皆様のお力によるも
のと深く感謝申し上げます。

いたる通信



ゲートシティ大崎・ウエストタワー・アトリウムにて。

この【合同販売会】も回を
重ねる毎に販売会そのものが
自主生産品を販売する事を目
的に始めた【合同販売会】で
したが、ご利用者様のご家族
の方がボランティアで参加し
て下さり、続いてあかねの会
さんが販売に加わり、その後
場所を提供して下さいている
会社の社員がボランティアで
加わり、ついにはビルテナン
トの会社の社員が加わるに至
りました。



10月は霞が関ビルにてキッチンカーも出動！

障害者優先調達推進法を受けて

（すずき たけし）
さんまるしえ マネジャー 鈴木 健

さんまるしえではお店の販
売に加え、外販活動も行っ
ています。厚生労働省が施行し
た「障害者優先調達推進法」
を受け、各施設の自主生産品
を販売することにより、一般
の方が理解を深められるよう
目黒区と連携した外販活動を
展開中です。新年度も自主生
産品の外販を店舗販売と併せ
て行ってまいります。

写真は東京都歯科医師会と



デンタルフェスティバルに初出店！

定員20名に達しさらに連携を強化

（いけだ あやのぶ）
ハン工房 PukaPuka 統括リーダー 池田 史暢

あけましておめでとうござ
います。旧年中は多大なるご
支援を賜り、厚く御礼申し上
げます。
さて、当事業所では今年度
に定員が20名に達し、それに
伴う社会的責任も重くなり、
ご利用者様の特性を踏まえた
生産・販売支援を改めて推進
します。一方で生産量も増え
続け、うれしい悲鳴が続いて

続きます。各事業所をはじめ各事
業部との連携を昨年以上に密
に図り、生産・販売ともに磐
石な PukaPuka ブランドを作
り、荻窪・阿佐谷地区から区
外に向けて力強く前進します。
干支である酉年にちなみ当
事業所が大飛躍するようにス
タッフ一同邁進してまいりま
す。今後ともどうぞよろしく
お願いいたします。

教育事業の拡充を

目指して

（いしかわ たかし）
室長 石川 孝

エコール・ド・イタールで
は、東京都指定研修事業とし
て、平成27年度に介護職員初
任者研修2回（修了者21名）、
知的障害者移動支援従業者
（ガイドヘルパー）養成研修
を1回（修了者2名）開講、
平成28年度に初任者研修を2
回（修了予定者含む13名）開
講しました。3月にもガイド
ヘルパー研修を計画中です。
29年度からは、初任者研修
2回、ガイドヘルパー研修2
回を定例化するとともに、幼
児・小中高生対象の「自然体
験学習教室」の実施、マイス
ター制度の職業訓練ビジネス
スクールの新設、「起業家養
成のれん分け制度」経営塾や
政府が提唱する地方創生に呼
応して、地方での雇用人材の
育成・確保に取組む「成人職
業訓練学校」設立など、事業
計画を拡充していきます。

在宅を支える支援

（やまき としこ）
地域ケアセンター・サポートウイズ 所長 八巻 利子

あけましておめでとうござ
います。
サポートウイズにおける平
成19年から始まった在宅支
援（グループホーム入居者も
含む）も、来年で10年を迎
えようとしています。移動支
援から始まり、現在は介護保
険マターの高齢者の支援（居
宅介護支援）まで行うに至り
ました。

障害者であろうと高齢者であ
ろうと、「人に違いはない」
をモットーに、皆が同じ楽し
みを共有できて、地域と触れ
合うことよって得られるも
のが多くありました。
これからも障害者や高齢者
が、さまざまな垣根を越えた
社会参加や、在宅生活を支え
ていける組織作りを目指して
いきたいと考えています。

地域ニーズに応える

（かげやま ひとみ）
短期入所へ クローバー 所長 影山 仁美

平成28年度は、春と秋にク
ローバー・マルコの人員配置
に変更があり、利用の受け入
れに困難が生じた年度となり
ました。
春以降はそれまで週数回の
泊り勤務だった男性非常勤職
員の退職により、排泄・入
浴・着替えに支援を必要とさ
れる男性ご利用者様のご希望
にお応えできなくなる回数が増
えました。

そして、秋頃からは、常勤
職員の法人内異動により1日
を通して職員の配置が少ない
日も出ており、更に利用をお
断りする日が発生しています。
他の福祉施設等も人員確保
が課題のようですが、クロー
バー・マルコも少しでも地域
のニーズに応えていけるよう
今年度は職員の雇用に力を入
れていきたいと思えます。本
年もよろしく願いいたします。

すまいる高井戸5年目の春

杉並区障害者地域相談支援センター

（はるやま ようこ）
すまいる高井戸 センター長 春山 陽子

平成25年4月に区の委託事
業として、区内3か所のすま
いるは、生活の支援を中心
に相談支援を開始しました。す
まいる高井戸は、高井戸エリ
アの方の個別の相談と杉並区
在住の方の社会生活を充実し
ていくためのプログラムや当

昨年4月より、障害者差別
解消法がスタートし、すま
いる高井戸では、障害のある方
や地域の方や学校等に情報提
供を行いました。地域の方と
一緒に、より障害の方への理
解を深め、障害の
ある方が、自分
らしく生活してい
けるように目指し
ていきます。

また昨年、み
なさまのおかげで
東京都より功労賞
をいただきました。
これから、
若い方を育ててい
くことにますます
力を注ぎたいと思
います。5年目の
すまいる高井戸を
よろしく願いま
す。

すまいる高井戸
センター長 春山 陽子

全ては順調な試練

（あらかわ よしお）
あけぼの作業所 所長 荒川 善夫

新年あけましておめでとう
ございます。本年も皆様に
とって良き年でありませう
ご祈念申し上げます。

さて、世の中にはプラス思
考やマイナス思考の他にブレ
イクスルー思考というのがあ
ることをご存知でしょうか。
目の前にある障壁そのものに
価値を見出し、すべて順調な
試練として受け止めることに

より、その壁を自分の中に吸
収しながら成長を図り、一見
閉じられているかのように見
える状況を楽々と突破してい
くような発想法のことです。
大いなる楽観主義にも通じ
るのかもしれませんが、私は
今までもこれからの発想
法で生きていくつもりです。
本年もあけぼの作業所をよ
ろしくお願いいたします。



プログラムの一環として、2016年ふれあい美術展に参加！

あけぼの作業所 所長 荒川 善夫